

平成23年度第3回牛田中学校学校協力者会議〈提言部会〉報告

1 日 時 平成23年12月2日（金）10時00分～12時00分

2 内 容

(1) 伊藤委員長あいさつ

(2) 学校からの報告

- ア 第2回学校協力者会議〈提言部会〉（9月30日）の概要等
- イ これまでの教育活動の状況について
 - 合唱祭
 - 小中連携
 - ▽小学生の部活動体験
 - ▽小学校への出前授業
 - ▽公開授業研究会（牛田小学校）
 - 研究授業（牛田中学校）
 - 外部人材を活用した授業
- ウ 今後の教育活動について
 - 平成23年度修学旅行
 - 牛田中学校創立50周年記念行事（平成24年度）
- エ 家庭配付プリント「こんな家庭がいいな」の内容について
- オ 土砂災害対策について
- カ 不登校生徒への対応について

(3) 協議〈概要〉

ア これまでの教育活動の状況について

- ☆ 8月の「部活動体験」では、小学生が約50名が参加したそうだが、その概要を教えてください。
- ※ 対象児童は、牛田小学校と牛田新町小学校の6年生である。今まで本校入学予定者を対象とした2月の「入学説明会」で行っていたが、もっと多くの児童に本校の部活動を知ってほしいという願いから、時期を早めて8月に行った。（これまでと同様に、2月にも実施する予定である。）
今回は、サッカー部・野球部・吹奏楽部の参加者が多かった。生徒たちは、楽しそうに小学生に教えていた。〈学校回答〉
- ☆ 小学生は中学生になることにある種の不安感を持っているので、夏休み中に行った「部活動体験」などの交流は、大変意義のあることである。小学生がただ単に見学するのではなく、中学生と一緒に活動することは、とてもいい経験になる。
- ☆ 小学校での「出前授業」の様子を教えてください。また、今回理科と数学の2教科だったのは、何か理由があるのか。
※ 今回の「出前授業」では、2名の理科教員と2名の数学教員の合計4名が牛田小学校と牛田新町小学校へ出かけて、6年生を対象に授業を行った。35分間の授業のあと、生徒会作成のDVD（10分）も見てもらった。中学校の授業に対する不安を少しでもなくすことと、牛田中学校のPRを目的としている。
理科と数学の2教科となったのは、中学校側の時間割の都合が大きいです。来年度には、小学校の協力を得て6年生全員に牛田中学校に来てもらい、中学校の「体験授業」と「部活動体験」を行うことも考えています。〈学校回答〉
- ☆ 学区内の小学校から多くの児童に牛田中学校へ入学してもらうためには、進路の実績を上げるとともに、大人（保護者）の意識を変えることが大切である。学

力とともに体力テストも向上していることを積極的にアピールしていきたい。

- ☆ 様々な学力論があるが、確かな学力が身に付くための条件として、「違いが分かる」「区別ができる」「分類ができる」があると思う。例えば、「分類ができる」と、頭の中は整理され、すっきりとしてくる。このように知識を頭の中で整理する術を、生徒たちに教えていくことも重要である。

イ 今後の教育活動について

- ☆ 来年度の創立 50 周年記念行事は、どのような内容になるのか。

※ 平成 24 年 10 月 26 日（金）に創立 50 周年を記念して、毎年本校体育館で行っている合唱祭を白島の広島県立文化芸術ホール（ALSOK ホール）で行い、その後、記念式典並びに記念講演を計画している。記念講演の講師は、人工衛星「HIT - SAT」打ち上げに成功した植松 努 氏（植松電気専務取締役）にお願いしており、「思うは招く～夢があれば何でもできる～」と題して講演していただく予定である。ホールは、1 階 1200 席、2 階 600 席、合計 1800 席あるので、保護者・地域・同窓会にも参観を呼びかけていきたい。本校卒業生である松井広島市長さんにお越しいただければ幸いである。〈学校回答〉

ウ 地域における生徒の状況について

- ☆ 自在坂神社の祭りでは、10 名以上の中学生が後片付けやゴミ拾いなどを積極的にやってくれており、とても感謝している。
- ☆ 中学生が、拾ったと思われるサッカーボールのようなものを蹴りながら下校しているのを見かけた。生徒自身もだが、周りの人や車も危険であると思えた。
- ☆ 以前は、中学生が下校中にたむろしているところをよく見かけたが、最近見ることがなくなり、落ち着いた学校生活を送っていることが分かる。（男子生徒が友だちと別れる時に、「また明日ねー！」と互いに声を掛け合うという微笑ましい光景も見られた。）
- ☆ 10 月 6 日に新牛田公園で不審火があった。また、新聞紙が燃えていることもあったようだ。それ以降、午後 9 時までは公園の管理者の方で、10 時からは警察が見回っておられる。
- ☆ 新牛田公園の上のバラ公園で、中学生かどうかは分からないが、深夜集まって食べたり飲んだりしている者がいるようだ。

エ その他

- ☆ 家庭配付リーフレット「こんな家庭がいいな～届いていますか、互いの言葉感じていますか、互いの心～」については、とても大切なことが盛り込まれており、いい取組であると考えている。
- ☆ 家庭内の問題を早めに関係機関に相談することにより、大きな問題になることを未然に防ぐことができることもある。リーフレットに「気軽に早めに相談」の文章を入れたらと思う。
- ※ このリーフレットは、PTA 役員の方と共に作成しているので、PTA 役員の方にも相談したい。もし、こうした文章がこのリーフレットに載らない時は、他のプリント等で周知していきたい。〈学校回答〉
- ☆ 学校として土砂災害対策を考えているが、土砂災害が起こる時には、大雨の可能性が大である。新牛田公園を緊急避難場所にすると、太田川の氾濫によって水没することも考えられる。比治山大学や牛田新町小学校・市立広島商業高校など、その場の状況（のり面・斜面・道路）によって安全な場所を判断する必要がある。
- ☆ 校区内での危険箇所については、消防署などによってハザードマップが既に作成されている。それも参考にして、避難場所などの判断材料としたい。

（４）上田提言部会長あいさつ